

【原著論文・症例報告】

- 1) 梅田正博, 堀田 毅, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉, 船越禧征, 稗田豊治: 乳児の口腔内にみられた奇形腫の1例. 小児歯誌, 24: 793-800, 1986.
- 2) 赤澤 登, 藤盛真澄, 佐野栄作, 梅田正博, 二見勝彦, 吉位 尚, 棚倉善正, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 舌の小腫瘍により診断が確定した原発性アミロイドーシスの1症例. 日口外誌, 32: 2407-2412, 1986.
- 3) 梅田正博: ハイドロキシアパタイトセラミックスの骨伝導性に関する組織学的・生化学的研究. 神大医紀, 48: 45-62, 1987.
- 4) 梅田正博, 寺延 治, 棚倉善正, 石田寿夫, 藤田邦夫, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜原発悪性黒色腫の臨床的・病理組織学的検討 第1報: 自験症例の組織学的特徴について. 日口外誌, 33: 1991-1999, 1987.
- 5) 梅田正博, 寺延 治, 棚倉善正, 石田寿夫, 藤田邦夫, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜原発悪性黒色腫の臨床的病理組織学的検討 第2報: 治療法と予後について. 日口外誌, 33: 1822-1827, 1987.
- 6) Umeda M, Mishima Y, Tranobu O, Nakanishi K, Shimada K: Heterogeneity of primary malignant melanomas in oral mucosa: An analysis of 43 cases in Japan. Pathology, 20: 234-241, 1988.
- 7) Sakai N, Umeda M, Tani M, Hanioka K, Itoh H, Nakanishi K, Shimada K, Tokuhisa T: Deregulated c-fos expression has the potential activity for tumorigenesis of epithelial cells. International Center Medical Research Annals, 9: 69-83, 1989.
- 8) 梅田正博, 寺延 治, 岩田耕三, 島田勝弘, 栗岡一人, 高橋伸彰, 内藤 勲, 武 宜昭, 陳明裕, 川本博男, 島田桂吉: HAPの骨伝導性とHAP-骨複合体の安定性に関する組織学的検討. 日口腔インプラント誌, 2: 197-203, 1989.
- 9) 梅田正博, 寺延 治, 梅木邦彦, 藤田邦夫, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜原発悪性黒色腫の臨床的・病理組織学的検討 第3報: 口腔粘膜の良性および前癌性色素性病変について. 日口外誌, 35: 2065-2074, 1989.
- 10) 島田勝弘, 陳 明裕, 武 宜昭, 内藤 勲, 高橋伸彰, 岩田耕三, 梅田正博, 栗岡一人, 川本博男, 寺延 治, 島田桂吉, 川井隆夫: HAPと β -TCPの骨伝導性および安定性に関する組織学的研究 一家兎脛骨骨髓内移植実験の長期観察結果について. 日口腔インプラント誌, 2: 236-243, 1989.
- 11) 高橋伸彰, 梅田正博, 武 宜昭, 内藤 勲, 岩田耕三, 栗岡一人, 島田勝弘, 川本博男, 寺延 治, 島田桂吉, 川井隆夫: ハイドロキシアパタイトの骨伝導性に関する研究 一顆粒HAPにおける形状・組成が初期の骨伝導性に与える影響. 口科誌, 38: 583-592, 1989.
- 12) 梅田正博, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜原発悪性黒色腫の治療法と予後 一自験例12例と報告例96症例の検討. 日癌治, 25: 2499-2511, 1990.
- 13) 川本博男, 寺延 治, 武 宜昭, 内藤 勲, 高橋伸彰, 岩田耕三, 梅田正博, 栗岡一人, 島田勝弘, 島田桂吉: 多孔質ハイドロキシアパタイトセラミックスによる下顎骨再建に関する実験的研究. 日口腔インプラント誌, 3: 94-101, 1990.
- 14) 梅田正博, 大森昭輝, 横尾 聡, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔扁平上皮癌の頸部後発転移に対する臨床病理学的研究. 日口外誌, 37: 143-151, 1991.
- 15) 梅田正博, 横尾 聡, 大森昭輝, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉, 吉田岑男: 組織内照射を施行した口腔扁平上皮癌における組織学的所見と局所制御率との関係. 日口外誌, 37: 408-412, 1991.
- 16) Umeda M, Yokoo S, Take Y, Omori A, Nakanishi K, Shimada K: Lymph node metastasis in squamous cell carcinoma of the oral cavity: Correlation between histologic features and the prevalence of metastasis. Head Neck Surg, 14: 263-272, 1992.
- 17) 梅田正博, 岩田耕三, 柴田 和, 武 宜昭, 内藤 勲, 高橋伸彰, 島田勝弘, 栗岡一人, 川本博男, 寺延 治, 島田桂吉: 各種HAP顆粒の骨伝導性とHAP骨複合体の安定性について 一われわれが開発したHAP顆粒 (Kobeceram) と他のHAP顆粒との検討. 口科誌, 44: 258-267, 1992.

- 18) 久我雅則, 梅田正博, 武 宜昭, 横尾 聡, 大森昭輝, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口底扁平上皮癌の臨床的・病理学的検討. 日口外誌, 38: 119-126, 1992.
- 19) 梅田正博, 奥 尚久, 李 進彰, 武 宜昭, 横尾 聡, 大森昭輝, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜扁平上皮癌の両側リンパ節転移に関する臨床的検討. 頭頸部癌, 19: 217-220, 1993.
- 20) 武 宜昭, 梅田正博, 横尾 聡, 李 進彰, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜の高悪性型扁平上皮癌の臨床的検討. 日口外誌, 39: 721-729, 1993.
- 21) 横尾 聡, 梅田正博, 武 宜昭, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 上顎歯肉扁平上皮癌の臨床的, 病理組織学的検討. 口科誌, 42: 397-405, 1993.
- 22) Umeda M, Shimada K: Primary malignant melanoma of the oral cavity -its histological classification and treatment-. Br J Oral Maxillofac Surg, 32: 39-47, 1994.
- 23) 島田勝弘, 寺延 治, 花田泰宣, 井口 新, 武 宜昭, 岩田耕三, 梅田正博, 栗岡一人, 川本博男, 島田桂吉: HAP顆粒と骨髓混合移植による骨形成について. 日口腔インプラント誌, 7: 65-70, 1994.
- 24) 武 宜昭, 梅田正博, 横尾 聡, 奥 尚久, 藤岡 学, 川越弘就, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 下顎歯肉扁平上皮癌上皮癌の臨床的・病理学的検討. 口科誌, 43: 263-269, 1994.
- 25) 横尾 聡, 梅田正博, 武 宜昭, 大森昭輝, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜扁平上皮癌の頸部リンパ節転移に関する検討 -初回転移の実態と頸部郭清範囲について-. 口科誌, 43: 728-736, 1994.
- 26) 麻柄真也, 吉位 尚, 大塚芳基, 中尾 薫, 島田桂吉, 飯塚讓二, 岩田耕三, 梅田正博, 酒井伸夫, 谷垣信吾, 廣田充啓, 松割 聡: 歯科口腔外科領域感染症に対するRoxithromycin (RXM) の臨床的検討. 歯薬療法, 13: 141-149, 1994.
- 27) 藤岡 学, 梅田正博, 吉位 尚, 中西孝一, 島田桂吉: 11年後に再発を認めた口蓋悪性黒色腫の1例. 日口外誌, 40: 795-797, 1994.
- 28) 梅田正博, 大森昭輝, 李 進彰, 武 宜昭, 横尾 聡, 奥 尚久, 川越弘就, 藤岡 学, 中谷 徹, 西松成器, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜扁平上皮癌の手術後原発巣再発に関する臨床的検討. 口腔腫瘍, 7: 91-100, 1995.
- 29) 梅田正博, 川越弘就, 藤岡 学, 中谷 徹, 西松成器, 奥 尚久, 武 宜昭, 横尾 聡, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口腔粘膜扁平上皮癌の頸部非制御例に関する臨床的検討. 口腔腫瘍, 7: 101-110, 1995.
- 30) 川越弘就, 梅田正博, 西松成器, 中谷 徹, 武 宜昭, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: ヒト口腔癌組織のヌードマウス舌への同所性移植による浸潤、リンパ節転移モデルの作製. 口科誌, 44: 563-568, 1995.
- 31) 武 宜昭, 梅田正博, 奥 尚久, 横尾 聡, 川越弘就, 藤岡 学, 中谷 徹, 西松成器, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 下顎歯肉扁平上皮癌における下顎骨切除方法と原発巣再発の関係について. 口科誌, 45: 51-56, 1996.
- 32) 奥 尚久, 梅田正博, 武 宜昭, 横尾 聡, 川越弘就, 藤岡 学, 中谷 徹, 西松成器, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 口底扁平上皮癌上皮癌における下顎骨切除方法と原発巣再発との関係について. 口科誌, 45: 236-268, 1996.
- 33) 武 宜昭, 梅田正博, 横尾 聡, 奥 尚久, 藤岡 学, 川越弘就, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 上顎扁平上皮癌の頬部、耳下腺リンパ節転移について. 日口外誌, 42: 587-589, 1996.
- 34) 中島成美, 細矢正樹, 梅田正博: 当科における顎関節症1, 113例の臨床的検討 スプリント療法および咬合再構成を中心に. 日歯技工会誌, 17: 20-26, 1996.
- 35) 西松成器, 梅田正博, 川越弘就, 武 宜昭, 藤岡 学, 奥 尚久, 寺延 治, 中西孝一, 島田桂吉: 小唾液腺原発腺様嚢胞癌27例の臨床病理学的研究: 組織像、治療法と予後との関連性について. 口腔腫瘍, 9: 81-92, 1997.
- 36) 梅田正博, 渋谷恭之, 杉岡真一, 島田桂吉: 障害者の入院歯科治療に関する臨床的検討 第1報: 知的障害者の歯科治療と病院のオープンシステムについて. 障歯誌, 18: 164-170, 1997.
- 37) 梅田正博, 渋谷恭之, 杉岡真一, 島田桂吉: 障害者の入院歯科治療に関する臨床的検討 第2報: 寝たきり老人の歯科治療の問題点について. 障歯誌, 18: 171-175, 1997.

- 38) 杉岡真一, 梅田正博, 渋谷恭之, 中谷 徹, 島田桂吉: 開口障害を主訴に受診した破傷風の1例. 日口外誌, 43: 930-932, 1997.
- 39) Umeda M, Nishimatsu N, Teranobu O, Shimada K: Criteria for diagnosing lymph node metastasis from squamous cell carcinoma of the oral cavity: A study of the relationship between computed tomographic and histologic findings and outcome. J Oral Maxillofac Surg, 56: 585-593, 1998.
- 40) 梅田正博: ガス壊疽症例の外科的療法. 日口腔感染症会誌, 4: 30-32, 1997.
- 41) 梅田正博, 渋谷恭之, 吉川朋宏: 歯科治療時の感染性心内膜炎予防に関する歯科医師へのアンケート調査の検討. 歯薬療法, 17: 31-37, 1998.
- 42) 足立秀治, 大野良司, 河野通雄, 梅田正博, 寺延 治, 島田桂吉: CT、MRIによる頸部転移リンパ節の画像診断. 口腔腫瘍, 10: 267-274, 1998.
- 43) 西松成器, 梅田正博, 島田桂吉: ヒト腺原発腺様嚢胞癌のヌードマウス舌への移植による頸部転移、肺転移実験モデルの確立. 日口外誌, 44: 665-671, 1998.
- 44) 梅田正博: 歯科治療時の感染性心内膜炎に対する抗菌剤予防投与の検討 —アンケート調査を中心に—. 日口腔感染症会誌, 5: 14-19, 1998.
- 45) 梅田正博, 渋谷恭之, 杉岡真一, 李 進彰, 尾古俊哉: 口蓋穿孔を主訴に来院した鼻腔原発腺扁平上皮癌の1例. 日口外誌, 44: 102-104, 1998.
- 46) 花田泰宜, 梅田正博, 中谷 徹, 杉岡真一, 渋谷恭之, 吉岡 歩, 李 進彰, 竹野々 巖, 島田桂吉: 歯性感染症に起因するガス産生性蜂窩織炎の2症例. 口科誌, 47: 89-94, 1998.
- 47) 渋谷恭之, 吉川朋宏, 梅田正博, 李 進彰, 寺延 治, 島田桂吉: 上顎歯肉無色素性悪性黒色腫の1例. 日口外誌, 44: 814-816, 1998.
- 48) 渋谷恭之, 吉川朋宏, 真砂 洋, 梅田正博: 偏心性に位置した下顎骨類腱線維腫の1例. 日口外誌, 44: 888-890, 1998.
- 49) 吉川朋宏, 渋谷恭之, 梅田正博: 硬口蓋から下垂体部にまで達した木箸による穿通性外傷の1例. 日口外誌, 44: 897-899, 1998.
- 50) Umeda M, Nishimatsu N, Masago H, Ishida Y, Yokoo S, Fujioka M, Shibuya Y, Komori T: Tumor doubling time and onset time of pulmonary metastasis from adenoid cystic carcinoma of the salivary gland. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 88: 473-478, 1999.
- 51) Umeda M, Nishimatsu N, Shibuya Y, Yokoo S, Fujioka M, Komori T: Late local recurrence of squamous cell carcinoma of the oral cavity. Asian J Oral Maxillofac Surg, 11: 131-136, 1999.
- 52) Kurioka K, Umeda M, Teranobu O, Komori T: Effect of various properties of hydroxyapatite ceramics on osteoconduction and stability. Kobe J Med Sci, 45: 149-163, 1999.
- 53) Shibuya Y, Ri S, Umeda M, Komori T: Expression of E-cadherin, α -catenin, β -catenin in the adenoid cystic carcinoma. Histopathology, 35: 423-431, 1999.
- 54) Take Y, Umeda M, Teranobu O, Shimada K: Lymph node metastases in hamster tongue cancer induced with 9,10-dimethyl-1,2-benzanthracene (DMBA): association between histological findings and the incidence of neck metastases, and the clinical implications for patients with tongue cancer. Br J Oral Maxillofac Surg, 37: 29-36, 1999.
- 55) 川越弘就, 梅田正博, 西松成器, 奥 尚久, 寺延 治, 島田桂吉, 古森孝英: 口腔扁平上皮癌細胞および組織片のヌードマウス舌への移植による局所浸潤およびリンパ節転移実験. 口腔腫瘍, 11: 74-82, 1999.
- 56) 吉川朋宏, 渋谷恭之, 真砂 洋, 梅田正博, 古森孝英: 初診時に単なる顎関節症と診断した咀嚼筋間隙膿瘍の1例. 日口診誌, 12: 543-547, 1999.
- 57) Umeda M, Nishimatsu N, Yokoo S, Shibuya Y, Fujioka M, Komori T: The role of radiotherapy for patients with adenoid cystic carcinoma of the salivary gland. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 89: 724-729, 2000.
- 58) Umeda M, Komatsubara H, Nishimatsu N, Yokoo S, Shibuya Y, Komori T: High dose rate (HDR) interstitial brachytherapy for stage I-II tongue cancer. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 90: 667-670, 2000.

- 59) Yokoo S, Shibuya Y, Umeda M, Komori T: A consideration of diagnosis and treatment of squamous cell carcinoma of the lip -vermillionectomy as a preventive resection and reconstruction with orbicularis oris musculomucosal flap-. *Jpn J Oral Diag/Oral Med*, 13: 222-227, 2000.
- 60) Yokoo S, Ogata K, Umeda M, Komori T, Yamamoto H: Diagnostic evaluation of histogenesis and treatment of acinic cell carcinoma. *Jpn J Oral Diag/Oral Med*, 13: 535-541, 2000.
- 61) 井口 新, 梅田正博, 寺延 治, 古森孝英: HA顆粒と有茎骨膜との併用移植による骨形成に関する組織学的研究. *口科誌*, 49: 230-238, 2000.
- 62) 渋谷恭之, 梅田正博, 吉川朋宏, 真砂 洋, 垣本孝作, 鹿間敏向, 古森孝英: TWO WAYオープンシステムによる全身麻酔下歯科治療について. *障歯誌*, 21: 48-53, 2000.
- 63) 横尾 聡, 渋谷恭之, 梅田正博, 古森孝英: 口唇扁平上皮癌の診断と治療法についての一考察 予防切除としての赤唇粘膜切除術と口輪筋粘膜弁を用いた再建法について. *日口診誌*, 13: 222-227, 2000.
- 64) 陳 明裕, 梅田正博, 吉位 尚, 森鼻一浩, 西村 望, 土井久也, 寺延 治, 古森孝英: 神戸大学医学部附属病院歯科口腔外科における阪神・淡路大震災を含む過去5年間の全身麻酔症例の臨床統計的検討. *日歯麻誌*, 28: 255-256, 2000.
- 65) 横尾 聡, 大塚芳基, 梅田正博, 古森孝英: 赤唇伸展皮弁と遊離前腕皮弁による頬部、口角、口唇の一期的再建法. *口科誌*, 49: 1-6, 2000.
- 66) 西松成器, 梅田正博, 小松原秀紀, 石田佳毅, 真砂 洋, 福田全孝, 古森孝英: 頭頸部腺様嚢胞癌の局所再発と肺転移に関する臨床的検討. *頭頸部癌*, 26: 63-69, 2000.
- 67) 渋谷恭之, 梅田正博, 吉川朋宏, 真砂 洋, 垣本孝作, 鹿間敏向, 古森孝英: 発達年齢と知的障害者歯科治療時における行動管理法との関係について. *障歯誌*, 21: 1-8, 2000.
- 68) 渋谷恭之, 梅田正博, 西松成器, 吉川朋宏, 真砂 洋, 浅野 博, 古森孝英: 有病者や要介護高齢者に対する入院歯科治療の実態. *老年歯医*, 15: 46-51, 2000.
- 69) 横尾 聡, 古土井春吾, 梅田正博, 古森孝英: 遊離腓骨皮弁挙上における術前造影MRアングリオグラフィーの有用性. *口科誌*, 49: 313-319, 2000.
- 70) Shibuya Y, Umeda M, Yokoo Y, Komori T: Spindle cell squamous carcinoma of the maxilla: Report of a case with immunohistochemical analysis. *J Oral Maxillofac Surg*, 58: 1164-1169, 2000.
- 71) 真砂 洋, 渋谷恭之, 吉川朋宏, 梅田正博, 古森孝英: 口内法により摘出し得た副咽頭間隙多形性腺腫の1例. *日口診誌*, 13: 42-45, 2000.
- 72) 吉川朋宏, 渋谷恭之, 真砂 洋, 浅野 博, 梅田正博, 古森孝英: 頸動脈小体腫瘍の1例と文献的考察. *日口外誌*, 46: 283-285, 2000.
- 73) 尾島泰公, 梅田正博, 小松原秀紀, 西松成器, 福田全孝, 古森孝英: 上顎洞に発生した平滑筋肉腫の1例. *日口外誌*, 46: 530-532, 2000.
- 74) 浅野 博, 渋谷恭之, 古土井春吾, 西松成器, 梅田正博, 古森孝英: 舌神経鞘腫を伴った神経線維腫症2型の1例. *日口外誌*, 46: 587-589, 2000.
- 75) 渋谷恭之, 西松成器, 真砂 洋, 浅野 博, 梅田正博, 古森孝英: 放線菌性関節突起部骨髄炎が疑われた1例. *日口診誌*, 13: 398-401, 2000.
- 76) Umeda M, Yokoo S, Komori T, Nishimatsu N, Shibuya Y, Fujioka M: Experimental model of invasion and metastasis by orthotopic transplantation of oral squamous cell and adenoid cystic carcinomas into the tongue of nude mice. *Br J Oral Maxillofac Surg*, 39: 376-380, 2001.
- 77) Ji ZW, Oku N, Umeda M, Komori T: Establishment of an oral squamous cell carcinoma cell line (NOS-1) exhibiting amplification of the erbB-1 oncogene and point mutation of p53 tumor suppressor gene: its biological characteristics and animal model of local invasion by orthotopic transplantation of the cell line. *Oral Oncol*, 37: 386-392, 2001.
- 78) Shibuya Y, Yasuda H, Umeda M, Komori T, Ide C: Expression of R-cadherin in the regenerating chick sciatic nerve. *Anat Embryol*, 204: 485-491, 2001.
- 79) Yokoo S, Tahara S, Tsuji Y, Nomura T, Hashikawa K, Hanagaki H, Furudo S, Umeda M,

- Komori T: Functional and aesthetic reconstruction of full-thickness cheek, oral commissure and vermilion. *J Cranio-Maxillofac Surg*, 29: 344-350, 2001.
- 80) Yokoo S, Komori T, Umeda M, Takenono I, Hashikawa K, Hanagaki K, Tahara S: Functional reconstruction of mobile tongue and suprahyoid muscles after resection of cancer of the tongue. *Br J Oral Maxillofac Surg*, 39: 252-255, 2001.
- 81) Yokoo S, Komori T, Furudoi S, Umeda M, Nomura T, Tahara S: Rare variant of the intrasoleus musculocutaneous perforator: Clinical considerations in raising a free peroneal osteocutaneous flap. *J Reconstr Microsurg*, 17: 225-228, 2001.
- 82) 小松原秀紀, 梅田正博, 福田全孝, 西松成器, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: Stage I・II舌癌に対する高線量率組織内照射 (HDR) の臨床評価: 低線量率組織内照射 (LDR) と比較して. *口腔腫瘍*, 13: 17-22, 2001.
- 83) 山田 潔, 梅田正博, 古森孝英, 川井隆夫: ヒドロキシアパタイト (HA) の化学組成が溶出性および骨形成性に与える影響. *口科誌*, 50: 90-97, 2001.
- 84) 西松成器, 梅田正博, 小松原秀紀, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 口腔癌の頸部リンパ節転移節外浸潤例に対する術後照射の臨床評価. *口腔腫瘍*, 13: 167-171, 2001.
- 85) 横尾 聡, 古土井春吾, 竹野々 巖, 梅田正博, 古森孝英: 舌可動部および舌骨上筋群の動的再建における診断学的留意点. *日口診誌*, 14: 432-437, 2001.
- 86) 西山裕子, 奥 尚久, 吉川朋宏, 福田全孝, 梅田正博, 古森孝英: リンパ球性間質を伴うEBウイルス関連舌下腺未分化癌の1例. *日口外誌*, 47: 611-614, 2001.
- 87) 浅野 博, 渋谷恭之, 真砂 洋, 梅田正博, 古森孝英: 根管治療薬 (パラホルムアルデヒド製剤) によって惹起されたアナフィラキシーの1例. *日口外誌*, 47: 540-543, 2001.
- 88) 西 周子, 梅田正博, 南川 勉, 橋詰和英, 石井準之助, 古森孝英: 口蓋に発生した前癌性黒色症の1例と文献的考察. *日口外誌*, 47: 571-574, 2001.
- 89) 渋谷恭之, 宗本幸子, 西松成器, 李 進彰, 梅田正博, 古森孝英: 下顎智歯抜歯後に生じたカウザルギーの1例. *日口外誌*, 47: 815-818, 2001.
- 90) Umeda M, Komatsubara H, Nishimatsu N, Oku N, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: Establishment and characterization of a human adenoid cystic carcinoma line of the salivary gland which is serially transplantable and spontaneously metastasises to the lung in nude mice. *Oral Oncol*, 38: 30-34, 2002.
- 91) Umeda M, Minamikawa T, Yokoo S, Komori T: Metastasis of maxillary carcinoma to the parapharyngeal space: rationale and technique for concomitant en bloc parapharyngeal dissection. *J Oral Maxillofac Surg*, 60: 408-413, 2002.
- 92) Umeda M, Komatsubara H, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: Premalignant melanocytic dysplasia and malignant melanoma of the oral mucosa. *Oral Oncol*, 38: 714-722, 2002.
- 93) Yokoo S, Umeda M, Komatsubara H, Shibuya Y, Komori T: Evaluation of T-classifications of upper gingiva and hard palate carcinomas - a proposal for new criterion of T4. *Oral Oncol*, 38: 378-382, 2002.
- 94) Komatsubara H, Umeda M, Oku N, Komori T: Establishment of in vivo metastasis model of human adenoid cystic carcinoma: Detection of metastasis by PCR with human β -globin gene. *Kobe J Med Sci*, 48: 145-152, 2002.
- 95) 渋谷恭之, 金村世哲, 田中武彦, 夏木新二, 中神正博, 鎌田真砂央, 宗本幸子, 李 進彰, 梅田正博, 古森孝英: 口腔 (歯科) 保健センターにおける障害者歯科診療従事者に対する研修の実態調査. *障歯誌*, 23: 496-501, 2002.
- 96) 渋谷恭之, 宗本幸子, 西松成器, 李 進彰, 麻柄真也, 大谷嘉信, 鹿間敏向, 梅田正博, 古森孝英: 口腔 (歯科) 保健センターにおける障害者歯科診療時の行動調整方法の選択基準. *障歯誌*, 23: 49-54, 2002.
- 97) 真砂 洋, 渋谷恭之, 浅野 博, 南川 勉, 李 進彰, 梅田正博, 古森孝英: 耳下腺腫瘍と臨床診断された22例の検討. *日口診誌*, 15: 61-64, 2002.
- 98) 古土井春吾, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英, 橋川和信, 田原真也: ロック式下顎再建プレートの使用経験. *日形会誌*, 45: 155-161, 2002.

- 99) Shibuya Y, Umeda M, Yoshikawa T, Komori T: Carotid body tumour. *Oral Oncol*, 38: 313-317, 2002.
- 100) 浅野 博, 渋谷恭之, 西松成器, 真砂 洋, 梅田正博, 古森孝英: 歯肉増殖症を伴った骨髄異形成症候群患者に対する抜歯および歯肉切除術の1経験. *口科誌*, 51: 277-280, 2002.
- 101) 奥 尚久, 梅田正博, 李 進彰, 竹野々巖, 石井準之助, 古森孝英: 巣状に扁平上皮癌への分化を伴った下顎歯肉原発複合型大細胞神経内分泌癌の1例. *日口外誌*, 48: 12-15, 2002.
- 102) 古土井春吾, 横尾 聡, 小松原秀紀, 福田全孝, 梅田正博, 古森孝英: 前腕皮弁拳上後に続発した反射性交感神経性ジストロフィー (RSD) の1例. *日口外誌*, 48: 20-23, 2002.
- 103) Umeda M, Minamikawa T, Komatsubara H, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: Necrotizing fasciitis: a retrospective analysis of 9 cases and review of the literature. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 95: 283-290, 2003.
- 104) Umeda M, Komatsubara H, Minamikawa T, Furudoi S, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: A questionnaire on requests for disclosure of diagnosis, self-choice of treatment, and second opinion of patients with oral cancer in Japan. *J Palliat Care*, 19: 206-208, 2003.
- 105) Yokoo S, Komori T, Furudoi S, Shibuya Y, Umeda M, Ichinose A, Nomura T, Terashi H, Tahara S, Nibu K: Indications for vascularized free rectus abdominis musculocutaneous flap in oromandibular region in terms of efficiency of anterior rectus sheath. *Microsurgery*, 23: 96-102, 2003.
- 106) Shibuya Y, Zhang J, Yokoo S, Umeda M, Komori T: Constitutional mutation of keratin 13 gene in familial white sponge nevus. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 96: 561-565, 2003.
- 107) Shibuya Y, Murata M, Munemoto S, Masago H, Takeuchi J, Wada K, Yokoo S, Umeda M, Komori T: Alpha E- and alpha N-catenin expression in dorsal root ganglia and spinal cord. *Kobe J Med Sci*, 49: 93-98, 2003.
- 108) 梅田正博, 小松原秀紀, 尾島泰公, 石田佳毅, 南川 勉, 藤岡 学, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 高齢者口腔癌患者への癌告知に関する臨床的研究. *老年歯医*, 18: 28-35, 2003.
- 109) 南川 勉, 梅田正博, 藤岡 学, 渋谷恭之, 大川修司, 小松原秀紀, 古土井春吾, 横尾 聡, 古森孝英: 頭頸部壊死性筋膜炎の治療法および予後: 自験例12例と本邦報告例111例の臨床的検討. *日口診誌*, 16: 239-245, 2003.
- 110) 李 進彰, 村岡重忠, 小林正樹, 横山路子, 西松成器, 宗本幸子, 渋谷恭之, 梅田正博, 古森孝英: 口腔扁平苔癬に対するマレイン酸イルソグラシンにおける臨床的効果の検討. *日口粘膜炎誌*, 9: 26-33, 2003.
- 111) Umeda M, Yokoo S, Shibuya Y, Komori T, Obayashi C: Central poorly differentiated adenocarcinoma of the maxilla: Report of a case. *Kobe J Med Sci*, 49: 45-49, 2003.
- 112) Yokoo S, Tahara S, Sakurai A, Hashikawa K, Terashi H, Furudoi S, Umeda M, Komori T: Replantation of an avulsed zygomatic bone as a freeze-preserved autologous graft: a case report. *J Cranio-Maxillofac Surg*, 31: 115-119, 2003.
- 113) 山村佳子, 梅田正博, 福田全孝, 真砂 洋, 渋谷恭之, 古森孝英: 放射線治療が有効であった下顎骨のmassive osteolysisの1例. *日口外誌*, 49: 27-30, 2003.
- 114) 橋詰和英, 梅田正博, 南川 勉, 吉田達也, 横尾 聡, 古森孝英: 外側後咽頭リンパ節 (ルビエールリンパ節) に後発転移を生じた上顎骨中心性扁平上皮癌の1例. *日口外誌*, 49: 202-205, 2003.
- 115) 小林正樹, 古土井春吾, 福田全孝, 小松原秀紀, 梅田正博, 古森孝英: 放射線性下顎骨骨髄炎より発症した頸部壊死性筋膜炎の1例. *日口診誌*, 16: 295-298, 2003.
- 116) 渋谷恭之, 萩田佳子, 尾島泰公, 南川 勉, 藤岡 学, 宗本幸子, 李 進彰, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 上行結腸より下顎骨に転移し滑膜肉腫が強く疑われた1例. *日口診誌*, 16: 345-348, 2003.
- 117) Umeda M, Komatsubara Y, Ojima Y, Minamikawa T, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: Establishment and characterization of metastasizing cell lines from a heterotransplanted human adenoid cystic carcinoma. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 98:

211-216, 2004.

- 118) Yokoo S, Komori T, Furudo S, Umeda M, Nomura T, Hashikawa K, Ichinose A, Tahara S: Three-dimensional reconstruction after oral oncologic surgery using single free radial forearm flaps or free rectus abdominis musculocutaneous flaps. *J Oral Sci*, 46: 65-70, 2004.
- 119) Shibuya Y, Tanimoto H, Umeda M, Yokoo S, Komori T. Induction chemotherapy with docetaxel, cisplatin and 5-fluorouracil for tongue cancer. *Kobe J Med Sci* 50: 1-7, 2004.
- 120) 小松原秀紀, 渋谷恭之, 藤岡 学, 南川 勉, 石田佳毅, 尾島泰公, 横尾 聡, 梅田正博, 小林正樹, 李 進彰, 古森孝英: がん性疼痛に対する経皮吸収型フェンタニル製剤(デュロテップパッチ®)の使用経験. *ペインクリニック*, 25: 207-211, 2004.
- 121) 石井準之助, 藤田邦夫, 小松原秀紀, 梅田正博, 古森孝英: 放射線治療後の再発舌癌に対するレーザー手術の臨床評価. *頭頸部癌*, 30: 515-518, 2004.
- 122) 李 進彰, 渋谷恭之, 梅田正博, 中神正博, 長谷川雅一, 麻柄真也, 鎌田真央史, 田中武彦, 大谷嘉信, 鹿間敏向, 古森孝英: 障害者歯科治療におけるCO₂レーザーの使用経験. *障歯誌*, 25: 614-619, 2004.
- 123) 藤岡 学, 尾島泰公, 石田佳毅, 谷本 博, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 放射線性下顎骨壊死に起因した頸部壊死性筋膜炎の1例. *日口診誌*, 17: 108-110, 2004.
- 124) 宗本幸子, 渋谷恭之, 村岡重忠, 李 進彰, 梅田正博, 古森孝英: 下顎智歯抜歯時に生じた皮下気腫・縦隔気腫の2例. *日口外誌*, 50: 426-429, 2004.
- 125) 尾古俊哉, 阪上直樹, 衣川 良, 谷本 博, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 顎下腺に発生した癌肉腫の1例. *日口外誌*, 50: 604-607, 2004.
- 126) 石田秀美, 梅田正博, 南川 勉, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 小児に発生した耳下腺粘表皮癌の1例. *日口外誌*, 50: 660-663, 2004.
- 127) 南川 勉, 梅田正博, 中川直美, 橋詰和英, 柳田 恵, 鈴木泰明, 綿谷早苗, 渋谷恭之, 古森孝英: 重度糖尿病と統合失調症を有する患者にみられた頸部壊死性筋膜炎の1例. *障歯誌*, 25: 577-581, 2004.
- 128) Umeda M, Komatsubara H, Ojima Y, Minamikawa T, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: Lack of survival advantage in patients with advanced, resectable squamous cell carcinoma of the oral cavity receiving induction chemotherapy with cisplatin (CDDP), docetaxel (TXT) and 5-fluorouracil (5FU). *Kobe J Med Sci*, 50: 189-196, 2004.
- 129) Umeda M, Komatsubara H, Ojima Y, Minamikawa T, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: A comparison of brachytherapy and surgery for the treatment of stage I-II squamous cell carcinoma of the tongue. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 34: 739-744, 2005.
- 130) Umeda M, Minamikawa T, Komatsubara H, Ojima Y, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: En bloc resection of the primary tumour and cervical lymph nodes through the parapharyngeal space in patients with squamous cell carcinoma of the maxilla: a preliminary study. *Br J Oral Maxillofac Surg*, 43: 17-22, 2005.
- 131) Minamikawa T, Umeda M, Komori T: Reliability of sentinel lymph node biopsy with squamous cell carcinoma of the oral cavity. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 99: 532-538, 2005.
- 132) Yokoo S, Furudo S, Minamikawa T, Shibuya Y, Umeda M, Komori T, Terashi H: Aesthetic lip-chin splitting incisions for oral and oropharyngeal surgery. *Asian J Oral Maxillofac Surg*, 17: 179-182, 2005.
- 133) Komatsubara H, Umeda M, Ojima Y, Minamikawa T, Komori T: Detection of cancer cells in the peripheral blood and lung of mice after transplantation of human adenoid cystic carcinoma. *Kobe J Med Sci*, 51: 67-72, 2005.
- 134) Shibuya Y, Takeuchi J, Kobayashi M, Murata M, Munemoto S, Yokoo S, Umeda M, Komori T: N-/R-cadherin expression in dorsal root ganglia and spinal cord. *Kobe J Med Sci*, 51: 35-40, 2005.
- 135) 小松原秀紀, 梅田正博, 南川 勉, 尾島泰公, 柳田 恵, 重田崇至, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 口腔扁平上皮癌の遠隔転移巣の倍加時間と転移成立時期に関する検討. *口腔腫瘍*, 17:

232-238, 2005.

136) 南川 勉, 梅田正博, 石田佳毅, 宗本幸子, 綿谷早苗, 古森孝英: 下顎骨に発生した先天性エナメル上皮線維歯牙腫の1例. 日口外誌 51: 82-85, 2005.

137) 村田真穂, 梅田正博, 福田全孝, 綿谷早苗, 渋谷恭之, 古森孝英: 交感神経由来が疑われた深頸部に発生した嚢胞状神経鞘腫の1例. 日口診誌, 18: 32-36, 2005.

138) 渋谷恭之, 竹野々 巖, 藤岡 学, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 磁性アタッチメント応用インプラント義歯の2例. 神大医紀, 65: 43-48, 2005.

139) 古土井春吾, 中村枝里, 宮村 篤, 衣笠真香, 梅田正博, 古森孝英: 9年後に肺転移を認めた上顎悪性黒色腫の1例. 日口診誌, 18: 303-308, 2005.

140) 柳田 恵, 梅田正博, 石田佳毅, 鈴木泰明, 綿谷早苗, 古森孝英: 上顎洞に進展しセメント質様石灰化物を伴った歯原性粘液腫の1例. 日口外誌, 51: 610-613, 2005.

141) Yokoo S, Minamikawa T, Furudo S, Shibuya Y, Umeda M, Komori T: Reconstruction using a rectus abdominis musculocutaneous flap for maintenance of eating and swallowing function after oral oncologic surgery. Jpn Diag/Oral Med, 19: 178-186, 2006.

142) 梅田正博, 南川 勉, 尾島泰公, 小松原秀紀, 重田崇至, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 口腔扁平上皮癌の治療法と予後に関する臨床的検討 1. 手術例の原発巣制御について. 口腔腫瘍, 18: 65-73, 2006.

143) 小松原秀紀, 梅田正博, 南川 勉, 尾島泰公, 重田崇至, 渋谷恭之, 横尾 聡, 李 進彰, 石田佳毅, 中川直美, 西松成器, 古森孝英: Positron emission tomography (PET) による口腔扁平上皮癌頸部転移の診断. 日口診誌, 19: 77-81, 2006.

144) 柚島宏和, 梅田正博, 李 進彰, 石田佳毅, 中川直美, 西松成器, 竹野々 巖, 尾古俊哉, 福田全孝, 藤岡 学, 古森孝英: 下顎智歯抜歯後の合併症に関する多施設共同前向き研究. 日口診誌, 19: 82-87, 2006.

145) 綿谷早苗, 南川 勉, 小松原秀紀, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 悪性腫瘍の下顎骨浸潤評価: 各種画像診断と病理組織像との比較. 日口診誌, 19: 193-199, 2006.

146) 小松原秀紀, 梅田正博, 南川 勉, 尾島泰公, 重田崇至, 渋谷恭之, 横尾 聡, 李 進彰, 古森孝英: 口腔癌患者の遠隔転移や多重癌の診断におけるPositron emission tomography (PET) の有用性. 日口診誌, 19: 220-224, 2006.

147) 尾島泰公, 梅田正博, 小松原秀紀, 南川 勉, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 上顎歯肉扁平上皮癌49例の臨床的検討. 日口外誌, 52: 474-479, 2006.

148) 三浦真香, 梅田正博, 南川勉, 鈴木泰明, 柳田 恵, 村田真穂, 渋谷恭之, 古森孝英. 骨髄移植後GVHD患者に発生した頬粘膜癌の1例. 日口診誌, 19: 164-168, 2006.

149) 梅田正博, 李 進彰, 石田佳毅, 中川直美, 柳川由美恵, 明石昌也, 大川修司, 西松成器, 南川 勉, 古森孝英: 輸血拒否患者 (エホバの証人) に対する口腔癌手術の経験. 口腔腫瘍, 18: 1-5, 2006.

150) Shibuya Y, Takeuchi J, Ikehata N, Akashi M, Fujita T, Yokoo S, Umeda M, Komori T: Clinical study on temporomandibular joint disorder -analysis with the Japanese subtype classification-. Kobe J Med Sci, 53: 63-70, 2007.

151) Masago H, Shibuya Y, Munemoto S, Takeuchi J, Umeda M, Komori T: Alveolar ridge augmentation using various bone substitutes -a web form of titanium fibers promotes rapid bone development-. Kobe J Med Sci, 53: 257-263, 2007.

152) 梅田正博, 南川 勉, 小松原秀紀, 尾島泰公, 重田崇至, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 認知症や精神疾患を有する口腔癌患者の治療上の問題点. 日口診誌, 20: 1-5, 2007.

153) 重田崇至, 梅田正博, 尾島泰公, 小松原秀紀, 南川 勉, 古土井春吾, 渋谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 切除不能再発口腔癌に対するCDDPを用いたSeldinger法による大量動注化学療法の治療経験. 日口診誌, 20: 114-119, 2007.

154) 梅田正博, 南川 勉, 後藤育子, 小松原秀紀, 尾島泰公, 重田崇至, 渋谷恭之, 横尾 聡, 西松成器, 古森孝英: 抗凝固薬服用患者の口腔癌手術における出血管理. 日口診誌, 20: 245-249, 2007.

155) 小國晶子, 梅田正博, 尾島泰公, 重田崇至, 片岡智子, 南川 勉, 小松原秀紀, 渋谷恭之,

- 横尾 聡, 古森孝英: 口腔癌患者に対する癌告知に関する臨床的検討: 特に再発・転移時の不治の告知について. 日口診誌, 20: 275-290, 2007.
- 156) 梅田正博, 尾島泰公, 小松原秀紀, 重田崇至, 南川 勉, 澁谷恭之, 横尾 聡, 福田全孝, 西松成器, 古森孝英: ペプロマイシン投与後に間質性肺炎のため死亡した舌癌の2例. 口腔腫瘍, 19: 177-181, 2007.
- 157) Shigeta T, Umeda M, Komatsubara H, Komori T: Lymph node- and pulmonary metastases after transplantation of oral squamous cell carcinoma cell line (HSC-3) into the subcutaneous tissue of nude mouse: Detection of metastases by genetic methods using β -globin and mutant p53 genes. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 105: 486-490, 2008.
- 158) Umeda M, Komatsubara H, Shigeta T, Ojima Y, Minamikawa T, Shibuya Y, Yokoo S, Komori T: Treatment and prognosis of malignant melanoma of the oral cavity: Preoperative surgical procedure increases risk of distant metastasis. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 106: 51-57, 2008.
- 159) 片岡智子, 梅田正博, 南川 勉, 尾島泰公, 小松原秀紀, 重田崇至, 古土井春吾, 澁谷恭之, 横尾 聡, 古森孝英: 口腔癌手術後肺炎に対する口腔ケアの予防効果について. 日口診誌, 21: 1-6, 2008.
- 160) 渋谷恭之, 池端伯子, 小林正樹, 村田真穂, 宗本幸子, 鈴木泰明, 梅田正博, 古森孝英: 移動骨片の舌側傾斜予防に配慮した下顎垂直的歯槽骨延長の検討. 顎顔面インプラント誌, 7: 27-31, 2008.
- 161) 宗本幸子, 梅田正博, 李 進彰, 杉原裕子, 古森孝英: 舌痛症に対するパロキセチンの有用性に関する検討. Pharma Medica, 26: 105-108, 2008.
- 162) Hasegawa T, Shibuya Y, Kuroki S, Takeuchi J, Yokoo S, Umeda M, Komori T: Two cases of masticator space abscess initially diagnosed as temporomandibular joint disorder. Kobe J Med Sci, 54: 163-168, 2008.
- 163) Shibuya Y, Takeuchi J, Sakaguchi H, Yokoo S, Umeda M, Komori T: Myofibroma of the mandible. Kobe J Med Sci, 54: 169-173, 2008.
- 164) Sasaki H, Ohara N, Minamikawa T, Umeda M, Komori T, Kojima N, Takemura N, Morita H, Sugihara R, Enoki E, Itoh T: Gingival metastasis from ovarian mucinous cystadenocarcinoma as an initial manifestation (A rare case report). Kobe J Med Sci, 54: 174-182, 2008.
- 165) 渋谷恭之, 宗本幸子, 宮村 篤, 小林正樹, 梅田正博, 古森孝英: 舌に発生した腺様扁平上皮癌の1例. 日口外誌, 54: 50-53, 2008.
- 166) Kobayashi M, Shibuya Y, Takeuchi J, Murata M, Suzuki H, Yokoo S, Umeda M, Minami Y, Komori T: Ror2 expression in squamous cell carcinoma and epithelial dysplasia of the oral cavity. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 107: 398-406, 2009.
- 167) Oguni A, Umeda M, Shigeta T, Takahashi H, Komori T: The influence of surgical procedure and the effect of chemotherapy on nodal and distant metastases of human malignant melanomas that have been grafted into nude mice. Int J Oral Maxillofac Surg, 39: 42-49, 2009.
- 168) Shibuya Y, Kobayashi M, Takeuchi J, Asai T, Murata M, Umeda M, Komori T. Analysis of 472 Brånemark system TiUnite implants: A retrospective study. Kobe J Med Sci 55: 73-81, 2009.
- 169) Munemoto S, Shibuya Y, Murata M, Takeuchi J, Ikehata N, Kobayashi M, Suzuki H, Umeda M, Komori T. Effects of calcium phosphate cement on the peripheral nerve fibers. Kobe J Med Sci, 55: 98-105, 2009.
- 170) Kataoka T, Umeda M, Shigeta T, Takahashi H, Komori T: A new in vitro model of cancer invasion using AlloDerm®, a human cadaveric dermal equivalent: a preliminary report. Kobe J Med Sci, 55: 106-115, 2009.
- 171) 藤田剛史, 渋谷恭之, 竹内純一郎, 梅田正博, 古森孝英: 当科における顎関節症Ⅲb型患者の臨床統計的検討. Hosp Dent, 20: 103-109, 2009.
- 172) 梅田正博, 重田崇至, 高橋英哲, 小國晶子, 片岡智子, 南川 勉, 古森孝英: 85歳以上の

- 高齢口腔癌患者の治療法と予後に関する臨床的検討. 老年歯医, 23 : 397-403, 2009.
- 173) Umeda M, Shigeta T, Takahashi H, Kataoka T, Oguni A, Minamikawa T, Shibuya Y, Komori T: Metastasis to the lateral retropharyngeal lymph node from squamous cell carcinoma of the oral cavity: Report of three cases. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 38: 1004-1008, 2009.
- 174) Umeda M, Minamikawa T, Shigeta T, Oguni A, Kataoka T, Takahashi H, Shibuya Y, Komori T: Metastasis to the lingual lymph node in patients with squamous cell carcinoma of the floor of the mouth: Report of two cases. *Kobe J Med Sci* 55:67-72, 2009.
- 175) 南川 勉, 梅田正博, 片岡智子, 浅井知子, 小國晶子, 横尾 聡, 古森孝英: 癌性心膜炎を発症した上顎歯肉紡錘細胞癌の1例. *日口診誌*, 22 : 85-89, 2009.
- 176) 村田真穂, 梅田正博, 西 周子, 橋川和信, 宇佐美悠, 古森孝英: 上顎に発生した低悪性型筋線維芽細胞肉腫の1例. *日口外誌*, 55 : 184-188, 2009.
- 177) 李 進彰, 井堂信二郎, 柳川由美恵, 高田直樹, 和田圭之進, 中神正博, 麻柄真也, 鎌田真砂史, 長谷川雅一, 田中武彦, 梅田正博, 古森孝英: 濾胞性歯嚢胞を伴った上顎埋伏犬歯の萌出誘導を行ったダウン症児の1例. *障歯誌*, 30 : 120-124, 2009.
- 178) 重田崇至, 梅田正博, 高橋英哲, 片岡智子, 小國晶子, 南川 勉, 渋谷恭之, 古森孝英. 舌および頸部に発生し呼吸苦と嚥下障害をきたした巨大な血管奇形の1例. *日口診誌*, 22:269-273, 2009.
- 179) Umeda M, Shigeta T, Takahashi H, Oguni A, Kataoka T, Minamikawa T, Shibuya Y, Komori T: Shoulder mobility after spinal accessory nerve sparing modified radical neck dissection in oral cancer patients. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 109: 820-824, 2010.
- 180) Umeda M, Murata M, Suzuki H, Yanagida T, Shibuya Y, Komori T: A Case of malignant melanoma of the oral cavity alive with liver metastasis for a long period with administration of a biologic response modifier, OK432. *Kobe J Med Sci*, 56, E140-147, 2010.
- 181) 重田崇至, 梅田正博, 南川 勉, 片岡智子, 小國晶子, 高橋英哲, 渋谷恭之, 古森孝英: 口腔癌頸部郭清術後の内頸静脈開存状態の検討. *日口外誌* 56, 422-427, 2010.
- 182) 高橋英哲, 梅田正博, 小國晶子, 片岡智子, 重田崇至, 南川 勉, 渋谷恭之, 李 進彰, 古森孝英: 口腔癌患者における重複癌のスクリーニング検査—上部消化管内視鏡およびpositron emission tomographyの有用性—. *日口外誌* 56, 471-475, 2010.
- 183) 長谷川巧実, 李 進彰, 梅田正博, 有馬宏美, 高橋英哲, 重田崇至, 井堂信二郎, 古森孝英: 下顎智歯抜歯後の下唇知覚鈍麻と術前のパノラマX線および多断面再構成CT画像所見との関係. *日口外誌* 56, 568-576, 2010.
- 184) 小林正樹, 渋谷恭之, 浅井知子, 村田真穂, 梅田正博, 古森孝英: 吸収性組織補強材 (ネオパール®) とフィブリン糊を用いた口腔前庭拡張術. *顎顔面インプラント誌* 9, 49-53, 2010.
- 185) Umeda M, Shigeta T, Takahashi H, Minamikawa T, Komatsubara H, Oguni A, Shibuya Y, Komori T: Clinical evaluation of Lugol's iodine staining in the treatment of stage I-II squamous cell carcinoma of the tongue. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 2011 (in press).
- 186) Hasegawa T, Ri S, Umeda M, Komori T. Relationship between hypoesthesia of the lower lip after extraction of the mandibular third molar and preoperative imaging findings using panoramic X-ray. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 2011 (in press) .

【総説・その他】

- 1) 藤田邦夫, 伝 春光, 大西 克, 大矢隆志, 田口雅史, 棚倉善正, 栗岡一人, 玉岡哲朗, 鄭哲理, 奥舎 保, 梅田正博, 吉位 尚, 塩谷耕司, 稲岡直美, 島田桂吉, 平田義博, 繁田幸慶, 足立邦彦: 歯周疾患に対する塩化リゾチーム製剤 (レフトーゼ) の有用性について. *歯界展望*, 67 : 1547-1551, 1986.
- 2) Teranobu O, Naito I, Takahashi N, Fujiwara M, Iwata K, Umeda M, Shimada Ka, Kurioka K, Shimada Ke, Kawai T: The influence of sintering condition and surface shape of hydroxyapatite ceramics on the osteoconductivity. *Proceedings of th 3rd International Congress of Implantology and Biomaterials in Stomatology*, 233-238, 1989.

- 3) 梅田正博, 藤田邦夫, 三木高憲, 中西孝一, 島田桂吉: チタン圧印床義歯の臨床評価. 第41回近畿北陸地区歯科医学大会誌上発表, 67-69, 1989.
- 4) Kawai T, Imanishi N, Teranobu O, Umeda M, Iwata K, Takahashi N, Shimada K: Effect of solubility behaviour and shape of hydroxyapatite granule on osteoconduction. Proceedings of the 33rd Japan Congress on Materials Reserch, 147-152, 1990.
- 5) 石井準之助, 大森昭輝, 岩田耕三, 梅田正博, 吉位 尚, 奥舎良清, 島田勝弘, 三木高憲, 島田桂吉: 口腔外科領域におけるスルガム錠の使用経験. 歯界展望, 75:1469-1479, 1990.
- 6) Umeda M, Omori A, Yokoo S, Take Y, Teranobu O, Nakanishi K, Shimada K: A clinicopathological study of neck metastasis in oral squamous cell carcinoma -comparison between early metastasis and delayed metastasis-. Proceedings of 16th Congress of IAMFS, 166-169, 1992.
- 7) 梅田正博, 川越弘就, 奥 尚久, 李 進彰, 武 宜昭, 南木 勲: 顎関節 I 型、I+II 型に対する塩酸チサニジン (テルネリン) の臨床評価. 診療と新薬, 30:1077-1084, 1993.
- 8) 中西孝一, 島田桂吉, 藤田邦夫, 武 宜昭, 内藤 勲, 平田義博, 梅田正博, 飯塚讓二, 廣田充啓, 谷垣信吾, 酒井伸夫: 舌痛症に対するペリシット錠の臨床使用経験. 歯界展望, 81:1491-1499, 1993.
- 9) 寺延 治, 梅田正博, 高橋伸彰, 内藤 勲: 人工骨としてのヒドロキシアパタイトの開発に関する研究. 神緑会学術誌, 9:137-142, 1993.
- 10) 中島成美, 細矢正樹, 梅田正博: 顎補綴治療に関する臨床的検討 -当科における顎補綴治療の現状-. 歯科技工, 21:1204-1214, 1993.
- 11) Iguchi A, Naito I, Takahashi N, Iwata K, Umeda M, Kurioka K, Kawamoto H, Tanigaki S, Teranobu O, Shimada K: Clinical evaluation of hydroxyapatite ceramics in maxillofacial surgery. Proceedings of the 3rd World Congress for Oral Implantology, 358-359, 1994.
- 12) Teranobu O, Umeda M, Takahashi N, Naito I, Shimada Ka, Kawai T, Shimada Ke: Various condition of HAP granules as graft materials into bone. Proceedings of the 3rd World Congress for Oral Implantology, 428-429, 1994.
- 13) 中島成美, 細矢正樹, 梅田正博, 竹野々 巖, 山本昌美, 中谷昌代, 源 貴美代, 石野亜希子, 佐藤智子: 神鋼加古川病院における顎補綴治療の現状. 兵庫歯科学院雑誌, 17:59-65, 1994.
- 14) 中谷昌代, 源 貴美代, 梅田正博: 知っておきたい顎関節症の病態と治療法. デンタルハイジーン, 16:703-714, 1996.
- 15) 源 貴美代, 中谷昌代, 山本昌美, 石野亜希子, 薄井智江, 佐藤智子, 中島成美, 細矢正樹, 中谷 徹, 花田泰宜, 梅田正博: 神鋼加古川病院歯科口腔外科における顎関節症患者の実態について. 兵庫歯科学院雑誌, 19:11-16, 1996.
- 16) 梅田正博: 医師と看護婦の“心の壁”をやぶる 看護婦によるインフォームド・コンセント、セカンドオピニオンは可能か? 看護, 50:50-56, 1998.
- 17) 片田めぐみ, 花房千重美, 鹿間敏向, 垣本孝作, 高橋仁志, 梅田正博: 加古川歯科保健センターにおける障害者診療の実態: 発達年齢とブラッシング状況、行動管理法との関連性について. 兵庫歯科学院雑誌, 21:15-21, 1998.
- 18) 梅田正博: 要介護老人の歯科治療の問題点と展望 -病院歯科の立場から-. 兵庫歯科学院雑誌, 21:36-45, 1998.
- 19) 梅田正博: 看護婦とセカンドオピニオン. オペナーシング, 14:409, 1999.
- 20) 梅田正博: 病院歯科の役割と不採算を考える. 兵庫県病院歯科医会10周年記念誌, 73-77, 1999.
- 21) 梅田正博, 横尾 聡, 石井準之助, 繁田幸慶, 藤田邦夫, 古森孝英: 顎口腔領域悪性腫瘍の治療について. 歯界月報, 591:28-72, 2000.
- 22) 立石千鶴, 小紫仁嗣, 古土井春吾, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 矯正歯科的手法を応用した血管柄付き遊離腭骨皮弁による下顎再建後の咬合管理について. 第52回近畿北陸地区歯科医学大会紙上発表, 199-201, 2000.
- 23) 横尾 聡, 古土井春吾, 梅田正博, 古森孝英: 神戸大学口腔外科における血管柄付き遊離組織移植を応用した顎口腔再建法. 第52回近畿北陸地区歯科医学大会紙上発表, 195-198, 2000.

- 24) 陳 明裕, 梅田正博, 古森孝英: 嘔吐反射の強い患者への対応法 ―矯正歯科治療における異常絞扼反射対策. 矯正歯科ジャーナル, 4: 81-87, 2000.
- 25) 梅田正博, 古森孝英: 要介護高齢者に対する入院歯科治療 病診連携による歯科医療システム構築の提言. 歯界展望, 95: 647-657, 2000.
- 26) 横尾 聡, 綿谷早苗, 渋谷恭之, 石井準之助, 梅田正博, 古森孝英, 立石千鶴: 神戸大学口腔外科におけるdentoalveolar deformityに対する手術. 歯界月報, 611: 22-31, 2002.
- 27) 宗本幸子, 渋谷恭之, 梅田正博, 古森孝英: 下顎智歯抜歯における臨床統計 ―神経麻痺を中心に―. 第56回近畿北陸地区歯科医学大会紙上発表, 2004.
- 28) 古土井春吾, 立石千鶴, 山本真由, 綿谷早苗, 渋谷恭之, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 顎変形症に対する3次元実体モデルの応用. 第57回近畿北陸地区歯科医学大会紙上発表, 42-44, 2005.
- 29) 綿谷早苗, 横山路子, 李 進彰, 竹野々 巖, 古土井春吾, 南川 勉, 梅田正博, 古森孝英: マレイン酸イルソグラジン (ガスロン^R) は口腔扁平苔癬に有効である. 第57回近畿北陸地区歯科医学大会紙上発表, 49-52, 2005.
- 30) 梅田正博, 古森孝英: 【歯科医師臨床研修必修化対応マニュアル】研修歯科医の受け入れ施設. 研修プログラムの事例の提示. 医科病院口腔外科の立場. 日本歯科医師会雑誌, 58:1102-1107, 2006.
- 31) 田中義弘, 梅田正博, 岸本裕允, 竹信俊彦, 野口一馬, 古土井春吾: 病院歯科における臨床研修1年目の評価について. 日本歯科医師会雑誌, 60: 239-243, 2007.
- 32) 西井美佳, 南川 勉, 片岡智子, 横尾 聡, 梅田正博, 古森孝英: 口腔がん手術患者への専門的な口腔ケア. デンタルハイジーン, 6: 660-663, 2009.
- 33) 梅田正博: 口腔感染症に対する外科療法. 日口外誌 56: 390-397, 2010.
- 34) 梅田正博: 開業医のための安全・確実な抜歯術 その基礎と臨床. 抜歯に伴う偶発症とその対応. DENTAL DIAMOND増刊号 35 (14): 90-97, 2010.
- 35) 澤田麻衣子, 西井美佳, 村田真穂, 南川 勉, 渋谷恭之, 梅田正博, 古森孝英: 造血器悪性腫瘍治療時の口腔ケアの現状と問題点. 歯科衛生士, 2011 (in press) .
- 36) 村田真穂, 梅田正博, 江原一雅, 楠 信也, 黒川敏子, 古森孝英: 歯科領域における医事関連刑事・民事訴訟の検討 ―小児歯科・抜歯・局所麻酔事故を中心に―. 歯界展望, 2011 (in press) .

【著書】

- 1) 島田桂吉, 梅田正博 (分担): 口腔粘膜原発悪性黒色腫. 清水正嗣 (編), 口腔癌 診断と治療, デンタルダイヤモンド社, 336-345頁, 1989.
- 2) 梅田正博, 古森孝英 (分担): II編 基礎的項目 3. 全身疾患への対応, 35-47頁, III編 臨床診断のポイント 2. 口腔癌, 86-96頁, IV編 基礎的手技と小手術のポイント 3. 智歯を中心とした難抜歯, 169-182頁, V編 口腔外科専門機関で行われている治療の現状 2. 口腔癌, 226-230頁, 7. 有病者歯科医療, 255-256頁. 古森孝英 (編著), 日常の口腔外科 はじめから, 永末書店, 2004.
- 3) 梅田正博 (分担): 第1章 総論 3. 全身疾患の理解, 20-28頁, 第2章 疾患各論 7. 悪性腫瘍, 137-147頁, 第4章 全身麻酔下手術の概要 12. 悪性腫瘍手術, 285-289頁. 古森孝英 (編著), 医療従事者のための口腔外科学, 永末書店, 2006.
- 4) 梅田正博 (分担): 家庭医が注意すべき歯科救急. 日本家庭医療学会 (編), プライマリ・ケア救急, プリメド社, 203-207頁, 2007.
- 5) 梅田正博, 古森孝英 (分担): 臨床のための隙の解剖. 日本口腔外科学会 (編), 口腔外科ハンドマニュアル' 10, クインテッセンス出版, 137-143頁, 2010.